

もっと知りたい

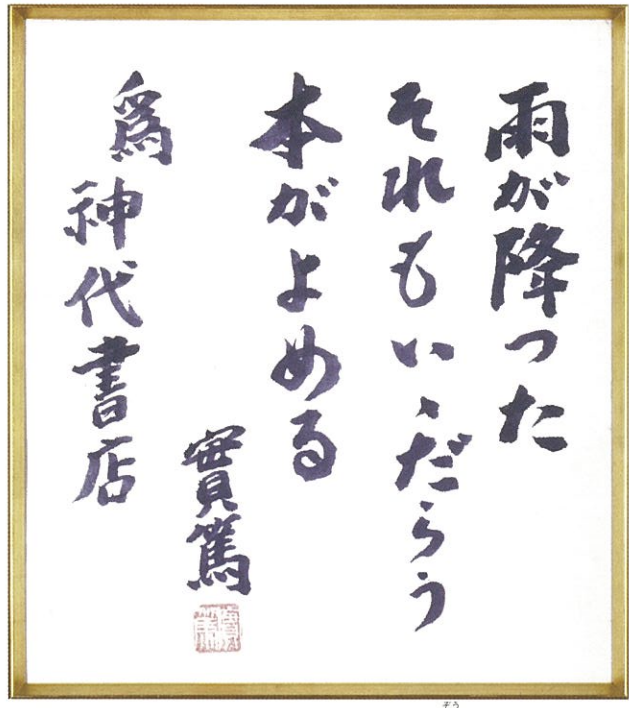
武者小路実篤

地域に残る実篤の足跡

仙川

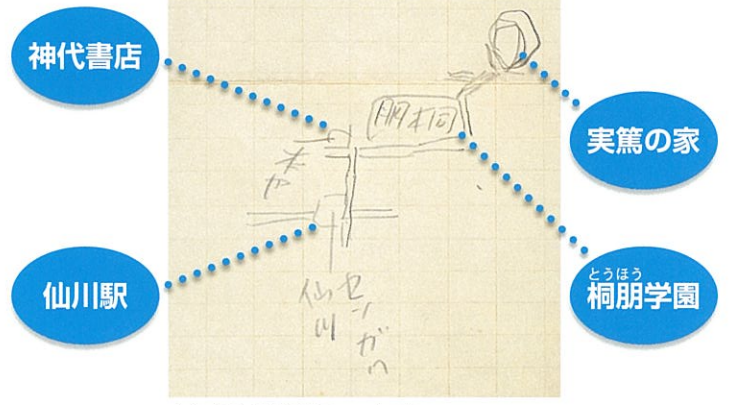
実篤が昭和30 (1955) 年から
晩年の20年間を暮らした地元・仙川に残る、
ゆかりの品々をご紹介します。

じんだい
神代書店



武者小路実篤「雨が降った」昭和30年代 神代書店蔵

神代書店の為に書かれたこの色紙は、道を聞く先として人に教えていたお礼として届けられたものといえます。



武者小路実篤「新居への略図」
昭和30 (1955) 年7月21日 県立神奈川近代文学館蔵

仙川の実篤の家を訪ねる人には、神代書店で道を聞くよう案内していました。

マンホールの蓋



昭和60 (1985) 年に実篤記念館が開館してまもなく調布市水道部が作り、一時期使用されました (現在は使われていません)。色つきの蓋は試作品。

今も実篤の「雨が降った」の色紙が掲げられています。



神代書店店内 平成25 (2013) 年6月



看板は
実篤の字

藤屋店内 平成25(2013)年6月
看板の字は武者小路実篤書 昭和38(1963)年

ふじ 和菓子の藤屋



原画：武者小路実篤「南瓜最中」掛け紙

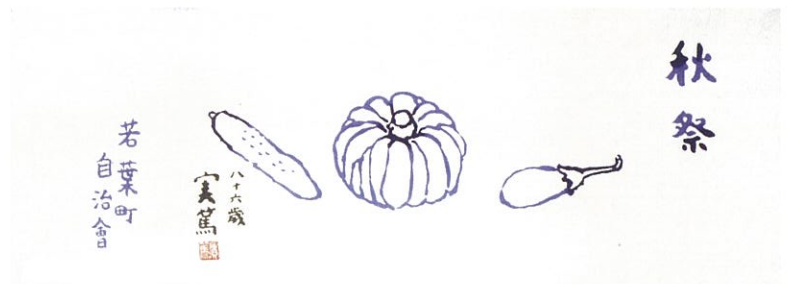
実篤に描いてもらった南瓜の絵にちなんだ最中を販売しています。昭和53(1978)年12月に、お店のリニューアル・オープンを記念して作られました。

せいこうえん お茶の青香園



仙川商店街にある青香園では、以前、実篤の字による看板と、お茶の花の絵が入った手さげ袋が使われていました。

若葉町自治会



原画：武者小路実篤「秋祭」手ぬぐい 昭和46(1971)年

実篤公園や記念館の所在地でもある若葉町の自治会では、今でも秋祭を開催しています。

そのほかにも…

仙川町に本社のあるネジの「萬平製作所」には、実篤の書「萬世太平」がありました。現在は、青梅市にある工場内に掲げられています。



実篤記念館では、地域に残る実篤の足跡を探しています。情報をお持ちの方はお知らせください。